

佐倉市民活動フェスタ 2011
 佐倉市の町づくりを考えてみよう！
私たちの町の財政
 ～基礎から現状分析まで～
 2011年11月20日
 主催 佐倉向日葵会
 醍醐 聡

Part 1 佐倉市の財政はどんな状況か

1. 財政の仕組み

*一般会計・8つの特別会計・水道事業会計

佐倉市の平成22年度の決算状況

会計名		歳入	歳出	差引残額
一般会計		434億6050万6701円	410億7162万0349円	23億8888万6352円
特別会計	国民健康保険	161億1610万4817円	160億2875万2614円	8735万2203円
	公共用地取得事業	628万4066円	628万4000円	66円
	下水道事業	24億3777万8109円	22億2782万4114円	2億0995万3995円
	老人保健	1041万4646円	1041万4646円	0円
	農業集落排水事業	2178万2630円	2176万6778円	1万5852円
	介護保険	79億1233万9153円	79億0626万8468円	607万0685円
	災害共済事業	602万3047円	92万2322円	510万0725円
	後期高齢者医療	12億4673万8605円	12億4398万8604円	284万0001円
水道事業		35億9158万9024円	30億8934万1162円	5億0224万7862円

*一部事務組合と広域連合

- ・**一部事務組合**：隣接する複数の普通地方公共団体が行政サービスの一部（消防・ゴミ処理・火葬など）を共同で行うことを目的として設置

佐倉市・酒々井町清掃組合（H22年度歳入規模：15億0900万円）

佐倉市八街市酒々井町消防組合（同上：42億5600円）

- ・**広域連合**：複数の普通地方公共団体が多角的な行政サービスを共同で行うことを目的として設置

千葉県後期高齢者医療広域連合（同上：3886億5300万円）

*財政支援団体

- ・佐倉国際交流基金（出資金：2億9900万円）

- ・佐倉緑の銀行（同上：2億円）
- ・印旛郡市文化財センター（同上：3000万円）

2. 利用する資料

- * 「決算カード」：市町村ごとの財政データを1枚の表に集約したもの
 - ・人口（住民基本台帳） ・歳入歳出決算 ・歳入／歳出の明細
 - ・市町村税の内訳（市町村民税の個人分・法人分、固定資産税、都市計画税など）
 - ・性質別／目的別の歳出内訳
 - ・積立金現在高／負債現在高（地方債・債務負担行為）
 - ・主な財政指標：財政力指数・経常収支比率など
 - ・職員数
 - ・平均給料月額（市長／副市長／教育長／議会議長／副議長／議員／一般職員／教育公務員）
- * 「財政状況等一覧表」（通常は1枚）
 - ・一般会計／公営事業会計等（特別会計など）／関係する一部事務組合等／財政援助団体の決算・財政状況
 - ・基金などの残高
 - ・主な財政指標（財政力指数／経常収支比率など）
- * 「佐倉市歳入歳出予算・決算書」（議会に提出され議決されるもの。最も詳細な財政資料）
 - ・市役所1号館2階の市政資料室／公共図書館に開架 ・現物を購入できる。

3. 調査の方法

- ・佐倉市単独のいろいろな数値や指標を時系列に調べて推移を確かめる。
- ・人口規模が似通った県内の市と1人当たりの数値を比較する。
野田市 成田市 習志野市 流山市 八千代市 浦安市
- ・数字だけではわからない点を直接、担当部課に出かけて聴き取り調査する。
- ・情報公開の請求をする。（前もって担当部課に問い合わせしておく。）

4. 歳入の比較

- ①住民1人が納めた市民税の平均額
 - ・佐倉市は中位（69.7万円） 浦安市がダントツ（107.5万円）→お金持ちが多い？
- ②法人が納めた市税
 - ・佐倉市は中の下（11.3億円）
 - ・浦安市（30.9億円）、成田市（21.2億円）が上位 → ディズニー効果と空港関連
- ③固定資産税
 - ・佐倉市（87.2億円）は下から2番目 → 地価が安いから？
 - ・浦安市（183.4億円）、成田市（186.1億円）が上位 → 人口密度、地価、法人立地

④地方交付税への依存度

- ・佐倉市（0.7%）は下から2番目 最高は野田市（7.1%）
- ・財政力指数が1以上の時は地方交付税はゼロ。では成田市はなぜもらっているのか？

⑥地方債への依存度

- ・佐倉市は最小（5.4%）、最高は八千代市（10.3%）

5. 歳出の比較

①市民1人当たり歳出額

- ・佐倉市は最低（22.9万円） 最高は浦安市（37.4万円）

②市民1人当たり民生費

- ・佐倉市は最低（6.5万円） 最高は成田市（10.3万円）

③納めた市民税との対比では（1人当たり民生費／1人当たり市民税）≒市民税還元率

- ・佐倉市は最低（0.93） 最高は成田市（1.67）
- ・浦安市は高負担高福祉 佐倉市は中負担・低福祉？

6. 貯金と借金（ストックの財政状況）

①市民1人当たりの貯金（積立金）

- ・佐倉市は中の上位（5.8万円） 最高は断トツ浦安市（14.1万円）

②市民1人当たりの借金（地方債＋債務負担行為）

- ・佐倉市は最小（22.7万円） 最高は成田市（49.5万円）

7. 役職員の給与水準と職員の勤務密度

①役職員の給与水準は中位（政務調査費等を別途比較する必要はあるが。）

②職員1人当たりの人口が最高 → 少ない職員で行政サービスをこなしている状況 行政サービスの質、職員のモチベーションに影響していないか？

8. 財政状況の総合診断

①財政力指数（基準財政収入額÷基準財政需要額）

- ・国から地方自治体に交付される普通地方交付税の必要性を判断する指標
- ・佐倉市は中位（1.00） 浦安市（1.63）、成田市（1.50）がずば抜けて良好

②経常収支比率（経常的一般財源÷経常的支出×100）

- ・100%を超えていると慢性的赤字状態（夕張市の場合は119.9%だった）
- ・80%を超えると財政の弾力性を損ないつつある状況といわれる。
- ・7市のなかで佐倉市はワーストに近い状況（95.6%） 最良は浦安市（81.1%）

9. まとめと提言

①浦安市、成田市には企業立地（ディズニーランドほか、成田空港とその関連施設）そこ

から生まれる人口密度、地価の高さが相乗効果となって法人の市民税、固定資産税が多く、良好な財政状態を保っている。

②佐倉市は財政力指数は良好で、市民1人当たりの積立金が多く、借金が少ないこと、地方債依存度も低いことから、堅実な財政状況と診断できる。

③佐倉市の課題

- ・市民税収への依存度は上から2番目(31.5%)、1人当たりの市民税負担は中位であるが、市民1人当たり歳出額&民生費が最小。その結果、納めた市民税に対する民生費の割合(市民税還元率)が7市の中で最低となっている。

→ 負担と受益の関係を精査し、還元率を上げることが必要

- ・住みよい町づくり(交通面での利便性の向上、子育て環境の向上、文化施設の重充実など)に取り組むとともに、国や県待ちでない市独自の予算付けにより、市民協働で安心・安全の町づくり(機敏な防災対応)を興し、特色ある市政を発信することが必要では。東北大震災・福島原発事故への対応は佐倉市の防災対応力が試された事例

- ・こうした地味な市民協働の努力によって、人口増加 → 地価上昇 → 市民税・固定資産税の増収 という好循環を生み出すことこそ堅実な町づくり

Part 2 国民健康保険の財政

～差し迫ったテーマ これからの学習のために～

1. 私たちはどこの医療保険に入るのか? 仕組みはどう違うのか?

- ・国民健康保険(市町村国保) 組合健康保険 共済組合 協会健保

- ・市民の28.9%(28,349世帯/50,816人)が世帯単位で佐倉市国保に加入している。

- ・75歳以上は後期高齢者医療保険に個人単位で加入

2. どんなサービスを受けられるのか?

- ・医療サービス(窓口で3割の自己負担) / 高額療養費の保険負担 / 健診サービスなど

3. 保険料はどれくらい?

- ・応能負担(所得割・資産割)と応益負担(個人単位の均等割・世帯単位の平等割)

4. 実態は?

*市民1人が負担する保険料の格差 最大 野田市:成田市=1.49:1 佐倉市は中位1.37

*保険料の応能割と応益割の割合 八千代市51:49 浦安市75:25

*収納率 佐倉市 現年分は88.5%と平均並み 滞納分を含めると58.7%で最悪

*増加する滞納問題 短期証明証/資格証明書/差し押さえ

*所得に比べて重い保険料 滞納世帯の84%が所得未申告+200万円以下

*解決の道筋は?

①高校生以下のいる世帯には短期証交付にとどめる。

②市町村国保を県単位国保に広域化(国の指導)

③究極の問題は国民皆保険をどう守るのか、ということ。